

拡張図面の解説

拡張図面

拡張図面概要

『拡張図面』機能概要

『拡張図面』では、敷地建物関連の各種『求積表』や『求積図』等の自動作成を行います。

『拡張図面』メニュー（『敷地』から起動時）

出力概要とイメージ

拡張図面

敷地(面積表・求積図)

座標求積

三斜求積

座標表

建物(面積表・求積図)

床面積

施工面積

建築面積

部屋面積

収納面積

総合(総合面積・計画概要)

総合面積

計画概要

配置図

閉じる

1) 座標求積 敷地の座標求積表と求積図 座標求積	2) 三斜求積 敷地の三斜求積表と求積図 三斜求積	3) 座標表 敷地の座標表と座標図 座標表
4) 床面積 建物の床面積表と求積図 床面積	5) 施工面積 建物の施工面積表と求積図 施工面積	6) 建築面積 建物の建築面積表と求積図 建築面積
7) 部屋面積 建物の部屋面積表 部屋面積	8) 収納面積 建物の収納面積表 収納面積	
9) 総合面積 敷地建物の総合面積表 総合面積	10) 計画概要 敷地建物の計画概要 計画概要	11) 配置図 敷地建物の配置図 配置図

出力イメージ抜粋				
三斜求積	床面積	建築面積	総合面積	計画概要



拡張図面起動

拡張図面起動

『拡張図面』は、以下『**①②③**』三ヶ所からの起動と同様の出力が可能です。



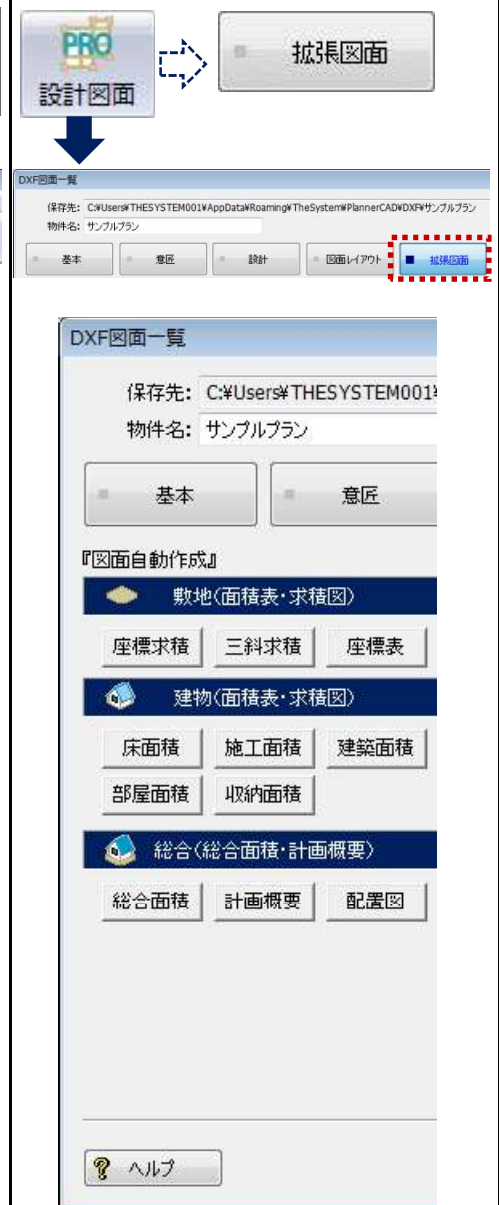
① 起動 1 : 『敷地』から起動



② 起動 2 : 『坪求積』から起動



③ 起動 3 : 『設計図面』から起動





拡張図面出力 - 概要

『拡張図面』出力オペレーション概要 (※下図は『座標求積』出力例)

『拡張図面』の種類（座標求積～配置図）により一部操作や作図設定などは異なりますが、基本的には概ね同様の以下手順で出力します。

- ①『拡張図面』ダイアログで出力する拡張図面の種類（座標求積～配置図）を選択し、必要に応じ『拡張図面出力』ダイアログ内の操作を行います。
 - ②必要に応じ『作図設定』で『作図条件設定』ダイアログを開き確認変更を行います。（『作図設定』省略による自動作成も可能です。）
 - ③『自動作成』を選択します。（『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で『自動作成』の選択が可能です。）
 - ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存する枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。20 図面が保存可能です。
- ※保存後は⑤『編集』または『図面確認』で DXF 編集が可能です。また、⑥『登録』では DXF2D 図形への登録利用が可能です。

『拡張図面』



『拡張図面出力』 (※配置図では非表示)



『作図条件設定』



『拡張図面 DXF の保存』



※備考

『拡張図面』の種類（座標求積～配置図）により以下操作が異なります。

- ・『座標求積、三斜求積、座標表』では、①の後に対象敷地を選択します。
- ・『床面積、施工面積』では、①の後に対象階を選択します。
- ・『部屋面積、収納面積、総合面積』の、②『作図設定』、③『自動作成』は『拡張図面出力』ダイアログの『面積表』選択後のメニューから選択します。
- ・『計画概要』では、①の後に各項目の任意入力変更を行います。
- ・『配置図』では、①の後に『作図条件設定』ダイアログを直接表示します。

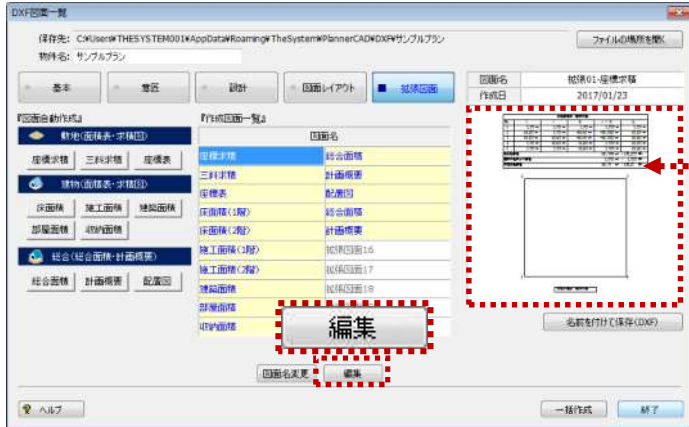


拡張図面編集

『拡張図面』編集概要

作成保存済の『拡張図面』は、以下画面の『編集』または『図面確認』などの操作により DXF 編集が可能です。

『DXF 図面一覧』 (平面入力画面ツールバー『設計図面』より起動)



プレビューの
クリックでも
編集画面起動

『作図条件設定』



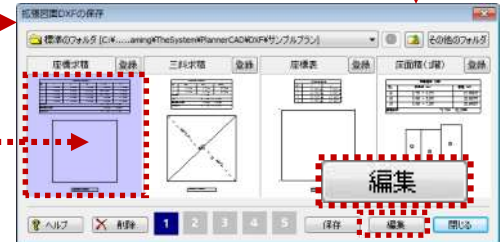
『拡張図面出力』 (拡張図面の種類選択により起動)



作図設定

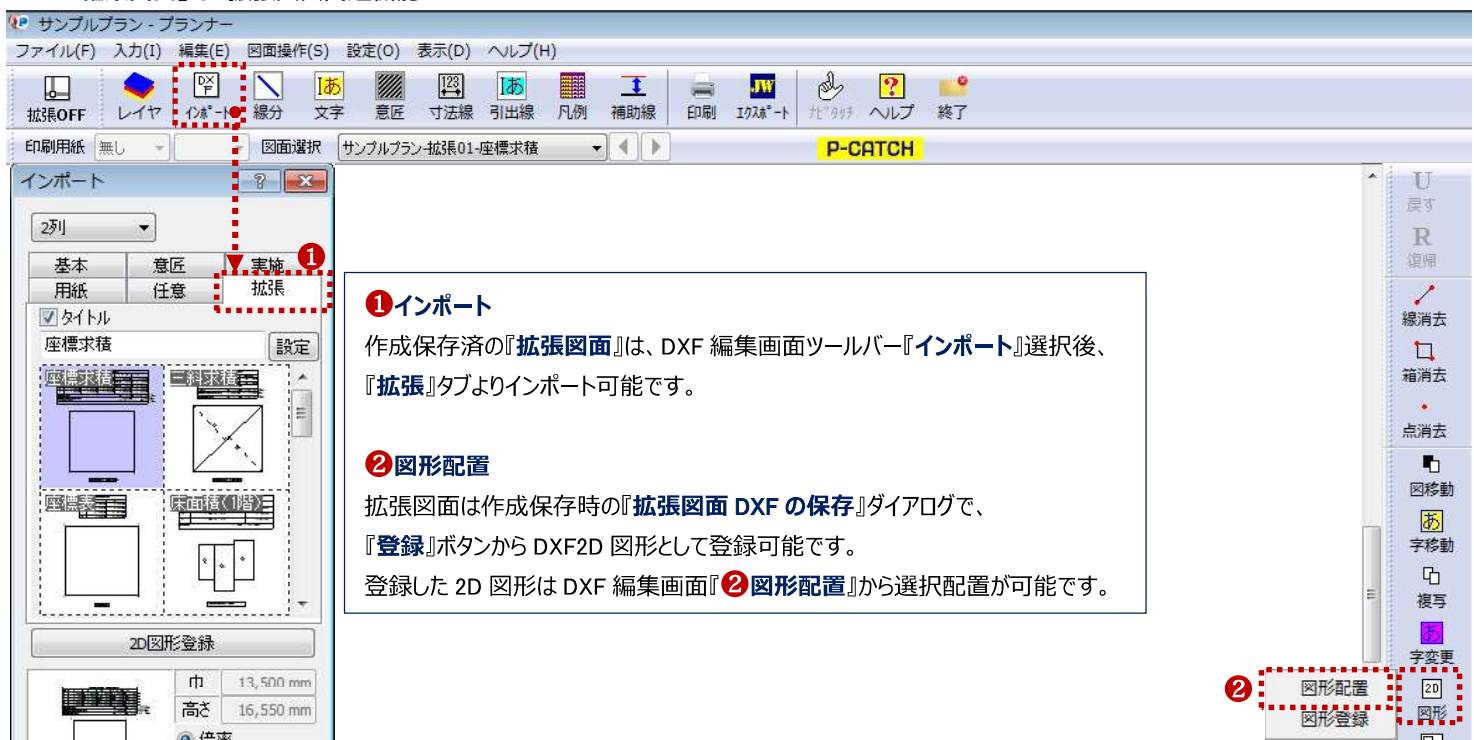
自動作成

『拡張図面 DXF の保存』



プレビューの
ダブルクリックでも
編集画面起動

『DXF 編集画面』での拡張図面関連機能



① インポート

作成保存済の『拡張図面』は、DXF 編集画面ツールバー『インポート』選択後、『拡張』タブよりインポート可能です。

② 図形配置

拡張図面は作成保存時の『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで、『登録』ボタンから DXF2D 図形として登録可能です。
登録した 2D 図形は DXF 編集画面②『図形配置』から選択配置が可能です。

② 図形配置
図形登録



拡張図面出力 - 1) 座標求積

『座標求積』出力オペレーション

『座標求積』では、敷地の『座標求積表』と『座標求積図』の DXF 出力を行います。 ※あらかじめ敷地を入力しておく必要があります。

- ①『座標求積』選択後、出力対象の敷地を選択します。(対象敷地の座標求積結果を表示します。)
- ②必要に応じ『作図設定』を確認変更します。(図表出力設定などの確認変更が可能です。『作図設定』省略による自動作成も可能です。)
- ③『自動作成』を選択します。(『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で『自動作成』の選択が可能です。)
- ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。

※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



拡張図面出力: 座標求積

単位: m

対象敷地選択

対象敷地選択

No.	x	y	dy	x × dy	L
1	0.000 m	0.000 m	0.000 m	0.0000 m	0.000 m
2	18.200 m	0.000 m	-19.110 m	-347.8020 m	18.200 m
3	18.200 m	19.110 m	-19.110 m	-347.8020 m	19.110 m
4	0.000 m	19.110 m	19.110 m	0.0000 m	18.200 m
1	0.000 m	0.000 m	19.110 m	0.0000 m	19.110 m

総敷地面積 347.7938 m² (105.2076 坪)

道路後退部分の面積 0.00 m² (0.0000 坪)

法定敷地面積 347.79 m² (105.20 坪)

図面確認 削除 作図設定 自動作成 閉じる

作図条件設定: 拡張図面【座標求積】

物件名: サンプルプラン

図面名: 座標求積

自動作成

出力レイヤ設定

出力対象

座標求積表

タイトル: ☒ 表タイトル行: 敷地面積表(座標求積)

合計行: ☒ 総敷地面積: 総敷地面積

☒ 道路後退面積: 道路後退部分の面積

☒ 法定敷地面積: 法定敷地面積

小数点第3位切り捨て

単位: m²(坪)

表: 行高: 5.0 mm

列巾: No: 10.0 mm

数値列: 25.0 mm

フォント: MS ゴシック 3mm 詳細設定

座標求積図

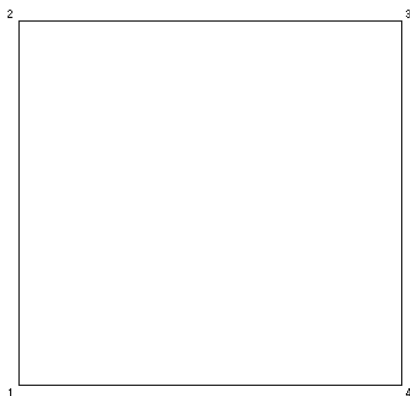
タイトル: ☒ 図タイトル: 敷地求積図(座標求積)

縮尺: 1/ 200 詳細設定

ヘルプ 出荷時設定 図面確認 削除 自動作成 終了

『座標求積』出力例

敷地面積表 (座標求積)					
No.	x	y	dy	x × dy	L
1	0.000 m	0.000 m	0.000 m	0.0000 m	0.000 m
2	18.200 m	0.000 m	-19.110 m	-347.8020 m	18.200 m
3	18.200 m	19.110 m	-19.110 m	-347.8020 m	19.110 m
4	0.000 m	19.110 m	19.110 m	0.0000 m	18.200 m
1	0.000 m	0.000 m	19.110 m	0.0000 m	19.110 m
総敷地面積				347.7938 m ² (105.2076 坪)	
道路後退部分の面積				0.0000 m ² (0.0000 坪)	
法定敷地面積				347.79 m ² (105.20 坪)	



敷地求積図 (座標求積)

拡張図面DXFの保存

標準のフォルダ [C:\Program Files\TheSystem\PlannerCAD\DXF\サンプルプラン]

その他のフォルダ

拡張図面01 登録 拡張図面02 登録 拡張図面03 登録 拡張図面04 登録

ヘルプ 削除 1 2 3 4 5 保存 編集 閉じる



拡張図面出力 - 2) 三斜求積

『三斜求積』出力オペレーション

『三斜求積』では、敷地の『三斜求積表』と『三斜求積図』の DXF 出力を行います。 ※あらかじめ敷地の三斜区画を入力しておく必要があります。

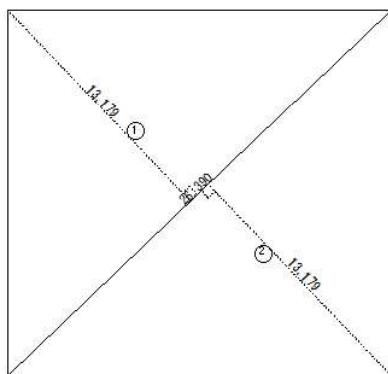
- ①『三斜求積』選択後、出力対象の敷地を選択します。(対象敷地の三斜求積結果を表示します。)
- ②必要に応じ『作図設定』を確認変更します。(図表出力設定などの確認変更が可能です。『作図設定』省略による自動作成も可能です。)
- ③『自動作成』を選択します。(『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で『自動作成』の選択が可能です。)
- ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。

※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



『三斜求積』出力例

敷地面積表 (三斜求積)			
No.	底辺	高さ	倍面積
1	26.390 m	13.179 m	347.794 m²
2	26.390 m	13.179 m	347.794 m²
倍面積合計		695.5876 m²	
1/2		347.7938 m² (105.2076 坪)	
道路後退部分の面積		0.0000 m² (0.0000 坪)	
法定敷地面積		347.79 m² (105.20 坪)	





拡張図面出力 - 3) 座標表

『座標表』出力オペレーション

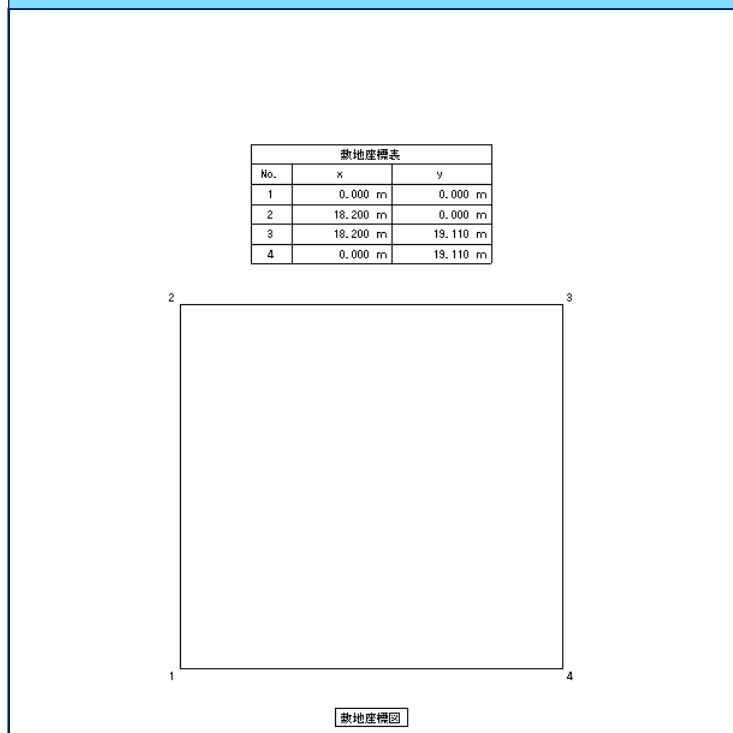
『座標表』では、敷地の『敷地座標表』と『敷地座標図』の DXF 出力を行います。 ※あらかじめ敷地を入力しておく必要があります。

- ①『座標表』選択後、出力対象の敷地を選択します。(対象敷地の座標値を表示します。)
- ②必要に応じ『作図設定』を確認変更します。(図表出力設定などの確認変更が可能です。『作図設定』省略による自動作成も可能です。)
- ③『自動作成』を選択します。(『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で『自動作成』の選択が可能です。)
- ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。

※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



『座標表』出力例





拡張図面出力 - 4) 床面積

『床面積』出力オペレーション

『床面積』では、建物求積結果による各階の『床面積表』と『床面積求積図』の DXF 出力を行います。

- ①『床面積』選択後、出力対象の階を選択します。(対象階の図表を表示します。『作図条件設定』ダイアログでも階選択変更が可能です。)
- ②必要に応じ『作図設定』を確認変更します。(図表出力設定などの確認変更が可能です。『作図設定』省略による自動作成も可能です。)
- ③『自動作成』を選択します。(『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で『自動作成』の選択が可能です。)
- ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。

※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



プラン新規入力時や平面プラン変更後は、『床面積』の求積区画は自動求積設定で自動更新します。

※求積区画の任意指定は『求積→拡張求積→床面積→任意指定』で行います。

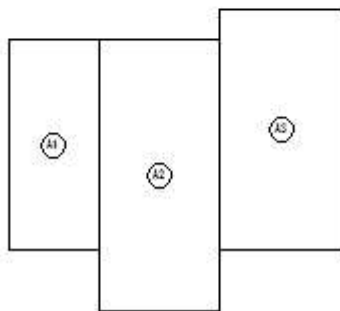


省略可



『床面積』出力例

床面積表 (1階)		
No.	計算式 (m)	面積 (m ²)
A1	2.730 × 6.370	17.390100
A2	3.640 × 8.190	29.811600
A3	3.640 × 7.280	26.499200
面積合計		73.70m ² (22.29坪)



床面積求積図 (1階)





拡張図面出力 - 5) 施工面積

『施工面積』出力オペレーション

『施工面積』では、建物求積結果による各階の『施工面積表』と『施工面積求積図』の DXF 出力を行います。

- ①『施工面積』選択後、出力対象の階を選択します。（対象階の図表を表示します。『作図条件設定』ダイアログでも階選択変更が可能です。）
 - ②必要に応じ『作図設定』を確認変更します。（図表出力設定などの確認変更が可能です。『作図設定』省略による自動作成も可能です。）
 - ③『自動作成』を選択します。（『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で『自動作成』の選択が可能です。）
 - ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。
- ※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



プラン新規入力時や平面プラン変更後は、『施工面積』の求積区画は自動求積設定で自動更新します。

※求積区画の任意指定は『求積→拡張求積→施工面積→任意指定』で行います。

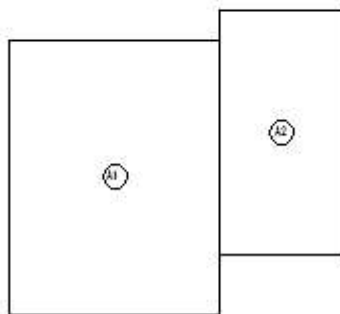


省略可



『施工面積』出力例

施工面積表 (1階)		
No.	計算式 (m)	面積 (m ²)
A1	6.370 × 8.190	52.170300
A2	3.640 × 7.280	26.499200
面積合計		78.66m ² (23.79坪)



施工面積求積図 (1階)





拡張図面出力 - 6) 建築面積

『建築面積』出力オペレーション

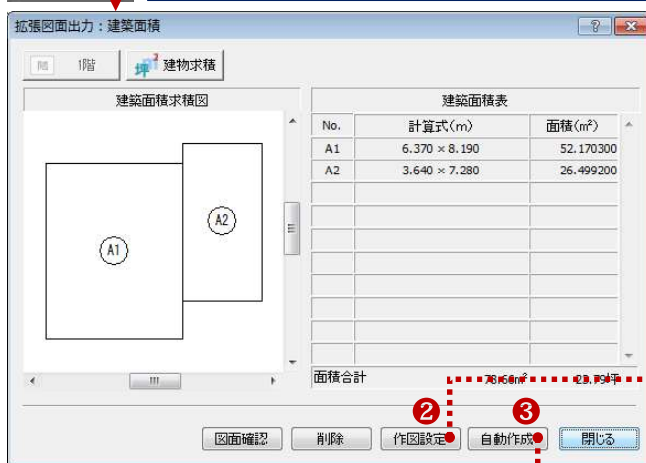
『建築面積』では、建物求積結果による『建築面積表』と『建築面積求積図』の DXF 出力を行います。

- ①『建築面積』を選択します。(対象の図表を表示します。)
 - ②必要に応じ『作図設定』を確認変更します。(図表出力設定などの確認変更が可能です。『作図設定』省略による自動作成も可能です。)
 - ③『自動作成』を選択します。(『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で『自動作成』の選択が可能です。)
 - ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。
- ※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



プラン新規入力時や平面プラン変更後は、『建築面積』の求積区画は自動求積設定で自動更新します。

※求積区画の任意指定は『求積→拡張求積→建築面積→任意指定』で行います。

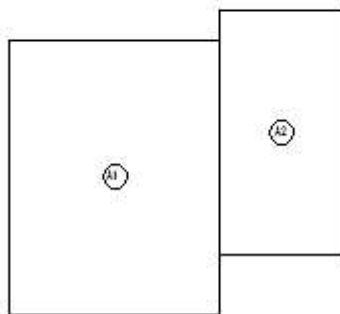


省略可



『建築面積』出力例

建築面積表		
No.	計算式 (m)	面積 (m ²)
A1	6.370 × 8.190	52.170300
A2	3.640 × 7.280	26.499200
面積合計		78.66m ² (23.79坪)



建築面積求積図





拡張図面出力 - 7) 部屋面積

『部屋面積』出力オペレーション

『部屋面積』では、任意選択した部屋の『部屋面積表』の DXF 出力を行います。

- ①『部屋面積』を選択します。(選択表示階の部屋面積表を表示します。出力対象の部屋は『作図条件設定』ダイアログで選択します。)
- ②必要に応じ『面積表』の『設定』を確認変更します。(出力対象の部屋などの確認変更が可能です。『設定』省略による自動作成も可能です。)
- ③『作図』または『自動作成』を選択します。(『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で作成可能です。)
- ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。

※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



『部屋面積』の出力内容は、平面入力画面『チェック→部屋面積チェック』または『設計図面→意匠→面積表→部屋面積』からの出力と同じですが、『拡張図面』では任意のファイル名で『部屋面積チェック』とは別に『拡張図面』として面積表を作成・保存・編集します。

拡張図面出力：部屋面積

面積表

1階～2階

階	部屋名	床面積(m ²)	(帖)
1階	トイレ	3.31 m ²	2.00 帖
1階	L・D・K	36.43 m ²	22.00 帖
1階	洗面	3.31 m ²	2.00 帖
1階	浴室	3.31 m ²	2.00 帖
1階	和室	9.93 m ²	6.00 帖
1階	床の間	1.65 m ²	1.00 帖
1階	押入	1.65 m ²	1.00 帖
1階	玄関	3.72 m ²	2.25 帖
1階	廊下	7.03 m ²	4.25 帖
1階	階段	3.31 m ²	2.00 帖
	計	73.65 m ²	44.50 帖
2階	トイレ	3.31 m ²	2.00 帖
	合計	136.55 m ²	82.50 帖

閉じる

作図 ③
設定 ②

省略可

作図条件設定：拡張図面【部屋面積】

物件名: サンプルプラン
図面名: 部屋面積

自動作成 ③

■出力レイヤ設定

表示設定
☒ 表タイトル: 部屋面積表
☒ 面積合計: 合計

出力単位
 単位: m²(帖)

端数処理
 m²: 小数点第3位切り捨て
 坪: 小数点第3位切り捨て
 帖: 小数点第3位四捨五入

表
 行高: 5.0 mm
 列巾: 部屋名: 25.0 mm
 面積(単列): 25.0 mm
 面積(併記): 40.0 mm
 フォント: MS ゴシック 3mm

部屋選択
 階: 1階～2階
 (1階) トイレ-1
 (1階) L・D・K
 (1階) 洗面
 (1階) 浴室
 (1階) 和室
 (1階) 床の間
 (1階) 押入
 (1階) 玄関
 (1階) 廊下-1
 (1階) 階段-1
 (2階) トイレ-2
 (2階) 洋室-1
 (2階) 加セット-1
 (2階) 洋室-2
 (2階) 加セット-2
 (2階) 納戸
 (2階) 廊下-2
 (2階) 階段-2

全選択 全解除

ヘルプ 出荷時設定 図面確認 削除 自動作成 ③ 終了

『部屋面積』出力例

部屋面積表		
部屋名	面積 m ²	(帖)
廊下-1	7.03	(4.25)
L・D・K	36.43	(22.00)
玄関	3.72	(2.25)
洗面	3.31	(2.00)
浴室	3.31	(2.00)
和室	9.93	(6.00)
床の間	1.65	(1.00)
押入	1.65	(1.00)
階段-1	3.31	(2.00)
トイレ-1	3.31	(2.00)
トイレ-2	3.31	(2.00)
洋室-1	16.56	(10.00)
加セット-1	2.48	(1.50)
洋室-2	19.87	(12.00)
加セット-2	3.31	(2.00)
納戸	4.96	(3.00)
廊下-2	9.10	(5.50)
階段-2	3.31	(2.00)
合計	136.55	(82.50)

拡張図面DXFの保存

標準のフォルダ [C:\Program Files\TheSystem\PlannerCAD\DXF\サンプルプラン]

拡張図面01 登録 拡張図面02 登録 拡張図面03 登録 拡張図面04 登録

ヘルプ 削除 1 2 3 4 5 保存 ④ 編集 ⑤ 閉じる



拡張図面出力 - 8) 収納面積

『収納面積』出力オペレーション

『収納面積』では、全階の『収納面積表』と収納率『凡例』の DXF 出力を行います。

- ①『収納面積』を選択します。(全階の収納面積表と選択表示階の簡易平面図を表示します。)
- ②必要に応じて『面積表』の『設定』を確認変更します。(凡例出力の有無などの確認変更が可能です。『設定』省略による自動作成も可能です。)
- ③『作図』または『自動作成』を選択します。(『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で作成可能です。)
- ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。

※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



『収納面積』の出力内容は、平面入力画面『チェック→収納面積チェック』または『設計図面→意匠→面積表→収納面積』からの出力と同じですが、『拡張図面』からの出力では、これらとは別に任意のファイル名で『拡張図面』として面積表を作成・保存・編集します。



省略可



『収納面積』出力例

収納面積表					
	収納率 %	収納面積 m ²	(帖)	床面積 m ²	(帖)
1階	2.23	1.65	(1.00)	73.70	(44.50)
2階	17.09	10.76	(6.50)	62.93	(38.00)
計	9.08	12.41	(7.50)	136.63	(82.50)

凡例	
8%未満	収納スペースが不足しています。
10%未満	マンションでは標準です。 戸建では、不足しています。
15%未満	戸建で標準的な広さです。
15%以上	十分な収納スペースが確保されています。





拡張図面出力 - 9) 総合面積

『総合面積』出力オペレーション

『総合面積』では、敷地面積、建物面積（床面積、施工面積、建築面積）建蔽率、容積率などの『面積表』の DXF 出力を行います。

- ①『総合面積』を選択し、必要に応じ『敷地条件の設定』を確認変更します。
- ②必要に応じ『面積表』の『設定』を確認変更します。（出力対象の項目などの確認変更が可能です。『設定』省略による自動作成も可能です。）
- ③『作図』または『自動作成』を選択します。（『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で作成可能です。）
- ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。

※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



『総合面積』の出力内容は、平面入力画面『チェック→敷地建物チェック』または『設計図面→意匠→面積表→敷地建物』からの出力と同じですが、『拡張図面』からの出力では、これらとは別に任意のファイル名で『拡張図面』として面積表を作成・保存・編集します。

拡張図面出力：総合面積

敷地条件設定

敷地面積 347.79 m² 105.20 坪

建築面積 78.66 m² 23.79 坪

延床面積 136.63 m² 41.32 坪

容積率 39.29 %

用途地域 第1種低層住居専用地域

法定建蔽率 30.00 %

法定容積率 50.00 %

1階～3階専用延床面積

階	面積 m ²	坪
3階	0.00	0.00
2階	62.93	19.03
1階	73.70	22.29

開じる

作図 ③
設定 ②

省略可

作図条件設定：拡張図面【総合面積】

物件名: サンプルプラン

図面名: 総合面積

自動作成 ③

出力レイヤ設定

表示設定

☒ 表タイトル: 面積表

出力単位

単位: m²(坪)

表

行高: 5.0 mm

列巾: 項目名: 25.0 mm

面積(単列): 25.0 mm

面積(併記): 40.0 mm

フォント: MS ゴシック 3mm

詳細設定

選択項目

項目	出力
階別床面積	☐
延床面積	☐
階別施工面積	☐
延施工面積	☐
建築面積	☐
敷地面積	☐
建蔽率	☐
容積率	☐
リフォーム	設定 ×

表示タイプ

タイプ1 (選択) タイプ2

項目	面積 m ²	(坪)
①階 建築面積	71.00	< 21.45
②階 建築面積	71.00	< 21.45
延床面積	142.00	< 42.90
①階 施工面積	71.00	< 21.45
②階 施工面積	71.00	< 21.45
延施工面積	142.00	< 42.90
建築面積	71.73	< 22.00
敷地面積	39.29%	
容積率	39.29%	

ヘルプ 出荷時設定 図面確認 削除 自動作成 ③ 終了

『総合面積』出力例

面積表		
項目	面積 m ²	(坪)
(1階)床面積	73.70	(22.29)
(2階)床面積	62.93	(19.03)
延床面積	136.63	(41.32)
(1階)施工面積	78.66	(23.79)
(2階)施工面積	70.38	(21.28)
延施工面積	149.04	(45.07)
建築面積	78.66	(23.79)
敷地面積	347.79	(105.20)
建蔽率	22.62%	
容積率	39.29%	

拡張図面DXFの保存

標準のフォルダ [C:\Program Files\TheSystem\PlannerCAD\DXF\サンプルプラン]

その他のフォルダ

拡張図面01 登録 拡張図面02 登録 拡張図面03 登録 拡張図面04 登録

ヘルプ 削除 1 2 3 4 5 保存 ④ 編集 ⑤ 開じる



拡張図面出力 - 10) 計画概要

『計画概要』出力オペレーション

『計画概要』では、工事名称、建築主、敷地概要、建築概要など、『計画概要』の確認変更と DXF 出力を行います。

- ①『計画概要』を選択し、必要に応じ各項目を確認変更します。
 - ②必要に応じ『作図設定』を確認変更します。（『作図設定』省略による自動作成も可能です。）
 - ③『自動作成』を選択します。（『拡張図面出力』ダイアログ、または『作図条件設定』ダイアログの双方で『自動作成』の選択が可能です。）
 - ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。
- ※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



『計画概要』入力では『文字列マスタ』への登録と選択入力が可能です。
また、行タイトルが青文字の項目については、常にプラン連動により更新表示します。

拡張図面出力 計画概要

各項目を確認変更します。

『文字列マスタ』への登録と選択入力が可能。

『青文字』の項目はプラン連動項目です。

省略可

図面確認 削除 作図設定 自動作成 キャンセル OK

作図条件設定: 拡張図面【計画概要】

物件名: サンプルプラン

図面名: 計画概要

自動作成

出力レイア設定

計画概要表

タイトル: ☒ 表タイトル行: 計画概要

表: 行高: 5.0 mm

列巾: ☐ 自動

列1: 30.0 mm

列2: 40.0 mm

列3: 120.0 mm

フォント: MS ゴシック 3mm 詳細設定

ヘルプ 出荷時設定 図面確認 削除 自動作成 終了

『計画概要』出力例

計画概要		
工事名称	長崎太郎・長崎花子 様邸 新築工事	
建築主	住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号
	氏名	長崎太郎、長崎花子
敷地概要	地名地番	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇
	住居表示	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号
	敷地面積	347.79 m ²
	都市計画区域	都市計画区域内(市街化区域)
	用途地域	第1種低層住居専用地域
	防火地域	指定なし
	指定建ぺい率	30 %
	指定容積率	50 %
	高さ制限	なし
	高度地区	—
	日影規制	—
	外壁の後退	なし
建築概要	風致地区	指定なし
	その他の指定	なし
	道路	前面道路幅員 4.000 m、接道長さ 19.110 m
	構造	木造在来軸組工法
	階数	地上 2 階 地下 0 階
	最高高さ	7.914 m
	軒高	6.500 m
	建築面積	78.66 m ²
	1階床面積	73.70 m ²
	2階床面積	62.93 m ²
	延床面積	136.63 m ²
	容積対象床面積	136.63 m ²
建築概要	建ぺい率	22.62 %
	容積率	39.29 %
	公的融資	住宅金融支援機構
予定工期		20**年*月*日～20**年*月*日

拡張図面DXFの保存

標準のフォルダ [C:\Program Files\TheSystem\PlannerCAD\DXF\サンプルプラン]

その他のフォルダ

拡張図面01 登録 拡張図面02 登録 拡張図面03 登録 拡張図面04 登録

ヘルプ 削除 1 2 3 4 5 保存 編集 閉じる



配置図

拡張図面出力 - 11) 配置図

『配置図』出力オペレーション

『配置図』では、敷地と建物の位置関係など、『配置図』の DXF 出力を行います。

- ①『配置図』を選択します。（『配置図』では『拡張図面出力』ダイアログを表示せず、『作図条件設定』ダイアログを直接表示します。）
- ②必要に応じ『作図条件設定』を確認変更します。
- ③『自動作成』を選択します。
- ④『拡張図面 DXF の保存』ダイアログで保存枠を指定後、『保存』を選択し、図面名を確認変更のうえ保存します。

※保存後は⑤『編集』またはプレビューのダブルクリックで編集可能です。



配置図

『配置図』の出力内容は、敷地入力画面『DXF 作成』または平面入力画面『設計図面→基本→配置図』からの出力と同じですが、『拡張図面』からの出力では、これらとは別に任意のファイル名で『拡張図面』として配置図を作成・保存・編集します。

『配置図』では『拡張図面出力』ダイアログを表示せず、直接、『作図条件設定』ダイアログを表示します。



『配置図』出力例（※出力後、一部加筆修正を行っています。）

